

真壁のひなまつり — 和の風第二十二章 —

開催

2月4日から真壁のひなまつり（真壁のひなまつり実行委員会主催）が開催され、賑わいをみせています。

平成15年2月に、住民の方の「寒い中、真壁に来てくれた人をもてなそう」という想いから始まった、雛人形を飾り来訪者のおもてなしをする真壁のひなまつり。当初21軒だった参加者は今では100軒を超え、期間中多くの方が訪れる催しへと成長しました。多くの登録有形文化財を有し歴史ある真壁の町並みとおひな様が調和する、この町ならではのひなまつりです。

22回目の開催となった今回も、真壁の町並みに多くの方が訪れ、来訪者はさまざま雛人形と温かいおもてなしに迎えられました。

実行委員長の柳田隆やなぎたかしさんは「地元の人とふれあいを通して楽しんでいただければ」と話してくれました。子どもに健やかに成長して欲しいという願いが込められた雛人形。それを先人たちは大切に受け継いできました。真壁のひなまつりの「おもてなし」の心も、大切に受け継がれていきます。

